

教育・文化スポーツ・福祉・医療部会が考える

分野別施策に関する意見書（案）

本意見書は、教育・文化スポーツ・福祉・医療部会において目指す将来都市像と現状とのギャップを埋める意味での課題について、行政にはない、民間ならではの発想や専門的見地から課題解決の取り組みを審議する過程で出された意見を取りまとめたもので、第1章は教育・文化スポーツ・福祉・医療部会の意見、第2章は教育・文化スポーツ・福祉・医療部会の意見の背景となった意見を記述しています。

第1章 教育・文化スポーツ・福祉・医療部会の意見

○生涯学習

生涯学習では、核家族化や地域におけるつながりの希薄化が進み、家庭教育の低下や地域社会での孤立化が増えてきており、家庭教育の支援や生涯学習活動への参加を高めることが課題となっていることから、社会教育部門と教育委員会が連携したすべての親を対象にした家庭教育支援、妊娠期から学童期までそれぞれの時期に応じた家庭教育支援に取り組まれない。また、地域づくり型生涯学習を推進するため市民をリードしていく人材の育成など生涯学習活動への参加向上に取り組まれない。

○スポーツ振興

スポーツでは、少子化の影響でスポーツ少年団員数が減少するなど子どもたちのスポーツ離れが進んでおり、スポーツの良さや価値を実感できる機会を充実したり、高齢化による健康増進としてのスポーツ活動の普及が課題となっていることから、スポーツの楽しさや素晴らしさを実感できるトップアスリートなどによる指導機会の充実など子どもスポーツ活動の推進に取り組まれない。また、健康福祉関係部署や団体との連携など健康増進としてのスポーツ活動の推進や総合型地域スポーツクラブの支援などスポーツを通じた地域コミュニティの構築に取り組まれない。

○乳幼児教育

乳幼児教育では、核家族化・共働き世帯の増加により家庭での保育が困難な世帯や未満児保育へのニーズが増えてきており、幼稚園、保育園に子育て支援拠点の機能を充実させることや、公立園と私立園との一層の連携が課題となっていることから、保護者のニーズ把握に努め子育て支援の体制や施設づくりを進めるなど幼稚園、保育園の子育て支援機能を充実させるとともに、民間にできるところは移行し、障がい児保育など公立が担うべきところはしっかりと公立でという機能分担や公立・民間の一層の連携を推進されたい。

また、幼稚園、保育園から小学校に上がった際に環境の変化にとまどったり、なじめない児童のため、スムーズな適応を図ることが課題となっていることから、幼・保・小の連

携事業の検証を踏まえ全市的な取り組みとするなど、幼稚園、保育園から小学校へのスムーズな適応を図られたい。

○学校教育

学校教育では、基礎学力について家庭学習の重要性の認識が各家庭によって大きく異なっており、家庭における認識度を高めていくことが課題となっていることから、「学力アッププログラム」についてPTAとの連携を深め家庭への啓発に努めるとともに、内容の改善にも努められたい。

○地域医療

地域医療では、高齢化や生活習慣病の増加に伴い病気や介護を必要とする人が増えており、保健・医療・福祉・介護が連携した包括ケアの提供が課題となっていることから、健康づくりに取り組む関係機関、団体との連携強化やがん検診・健康診断の受診率向上、保健指導の徹底など健康づくりの支援に取り組まれない。

また、受診者の大病院志向やコンビニ受診が見られるため、かかりつけ医制度の推進が課題となっていることから、医療機関の役割分担と連携の推進、地域包括ケアシステムの構築など市民が必要とする医療サービスなどを将来にわたって確保されたい。

○公立病院

公立病院では、常勤医師のいない診療科が発生したり、産科医師の不足から分娩の制限が行われ、医師・看護師など医療スタッフの確保が課題となっていることから、大学、医局などの教育・研究・研修のフィールドを提供するなど、医療スタッフの確保を図られたい。また、市内に二つの公立病院の役割分担の明確化と連携が課題となっていることから、二つの病院の効率的な機能分化を明確にするなど、両病院の役割分担の明確化と連携に取り組まれない。

○文化振興・歴史・伝統芸能

文化振興では、少子高齢化の進展などによる文化・芸術活動や伝統芸能活動の後継者不足や、市民の価値観の多様化など伝統芸能への関心低下による活動の停滞が懸念されており、子どものころから文化・芸術、伝統芸能に親しみ学ぶ機会の充実が課題となっていることから、文化を育む人材育成、伝統芸能の伝承教室へのさらなる支援など伝統芸能活動の後継者育成を支援するとともに、地域の魅力を高める資源として保護、活用に取り組まれない。

○少子化対策・子育て支援

少子化・子育て対策では、出生数、年少人口が減少し、核家族化が進んでいることから、安心して子どもを産み育てる環境の更なる整備や、結婚・出産・子育てなど子どもの成長に合わせた支援を連続してどう行うかが課題となっていることから、妊婦健診、特定不妊

治療など安全な妊娠、出産の支援子どもの健康診査の実施など子どもの健やかな成長発達支援に取り組むとともに、放課後児童クラブの運営支援など子どもたちが放課後安心安全に過ごすことができる居場所づくりの充実に取り組まれない。

○高齢者福祉

高齢者福祉では、高齢化により65歳以上の独居世帯、高齢者世帯、介護が必要な高齢者が増加しており、健康づくりや生きがいづくり、地域での見守りや介護サービスの充実が課題となっていることから、若年期からの生活習慣病予防などの健康づくりや老人クラブ・シルバー人材センターの支援など高齢者の生きがいづくり、見守り支援やボランティアの育成など地域の見守り、在宅支援の充実に取り組まれない。

○乳幼児福祉

乳幼児福祉では、発達障害の相談が増加しており、発達相談から発達支援までのワンストップサービス化が課題となっていることから、発達相談支援専門員の資格者育成を長期的に行うなど人材確保に取り組むとともに、発達相談室に相談支援事業所の役割を組み入れサービスのワンストップ化に取り組まれない。

○障がい者福祉

障がい者福祉では、高齢化などにより障がい者が増加しており、障がい者にサービスを提供できる施設の不足や、障がい者が住み慣れた地域で暮らすことができる環境づくりが課題となっていることから、重度障害者を受け入れる施設の整備、障がい者に対する理解を深めてもらう交流機会などを充実し、地域との協働・ボランティアの育成など障がい者が住み慣れた地域で暮らすことのできる環境づくりに取り組まれない。

第2章 教育・文化スポーツ・福祉・医療部会の意見の背景となった意見

1. 委員の意見

○生涯学習

- 家庭教育は、市長部局と教育委員会が連携して取り組まれない。
- 公民館図書や学校図書を充実するとともに、公民館図書室と中央図書館の連携を図りたい。
- 読書による人づくり、地域で活躍する人づくりや出番づくりなど、生涯にわたり学び続けることができる教育環境づくりを推進されたい。
- 地域に誇りを持ち郷土愛のある市民の育成を推進されたい。

○スポーツ振興

- 1 市民 1 スポーツを推進されたい。
- 医療費の抑制の面からも、高齢者の軽スポーツ普及の環境を整備されたい。
- 健康増進、コミュニティづくりの場を整備されたい。

○国際交流

- 民間で行われている交流を把握、集積されたい。

○乳幼児教育

- 地域によっては幼保一元化の先取りを検討されたい。

○学校教育

- 学校規模の適正化を推進されたい。
- 過疎地域の小学校がなくなると過疎化が一気に進むので、過疎化対策と子どもの教育力の両立を図られたい。

○教育に対する意見

- 子育てや教育に対しビジョン形成をされたい。
- 子育てや教育論を財政面から入らないようにされたい。

○地域医療

- 一次医療の役割と責務、二次医療の役割と責務を市民に対して啓発されたい。

○公立病院

- 2つの公立病院はホールディングカンパニーの例も参考にされたい。
- 公立病院は、二次医療の役割を果たしつつ、更なる高度医療化を推進されたい。

○文化振興・歴史・伝統芸能

- 中津川市は素晴らしい芸術家を輩出しているので、セキュリティのいい総合的な美術館を建設されたい。
- 国の重要文化財である赤壁城（苗木城）を復元されたい。

○少子化対策

- 幼少時より家庭教育、学校教育、社会教育の充実を図り、地域ぐるみの人材育成を行い、若者に魅力のあるまちづくりを推進されたい。
- 年長者・高齢者から若者への歴史・文化の伝承や若者が集う場の充実、社会教育の充実による心豊かな若者の育成、自尊感情の構築を目指して結婚に結びつけ、若者が住みたくなるまちづくりを図られたい。

○子育て支援

- 将来のまちづくりの原動力となる子ども達を心豊かに育てていくため、成長段階に応じた子育て・教育環境の整備を推進されたい。
- 家庭に負担のかからない子育て対策を、福祉の面から考慮されたい。
- 子どもの成長や地域の実情に応じた子育て支援に努め、安心して子育てができる環境整備と共に、少人数指導や個別指導の充実により、児童・生徒の基礎学力の向上を図るような、中津川らしさが出せる教育の推進を図られたい。

○高齢者福祉

- 高齢者の生きがいづくりは、地域の特性を生かし、公民館を拠点に推進されたい。
- 地域の教育を通して子育てから高齢者福祉まで一貫してつながる取り組みを、行政内部で連携して取り組まれない。
- 地域の見守りと在宅支援を地域コミュニティで実施する体制と組織づくりを推進されたい。

○福祉に関する意見

- 次世代を担う子どもたちが健やかに育ち、高齢者も障害のある人も生きがいを感じるまちを目指されたい。
- 全ての人々が将来にわたる健康を意識し心豊かに生きいきと暮らすことのできるまちを目指し、認め合い支え合う社会への理解をさらに深められたい。
- 地域に根差した健康医療・福祉体制の充実、整備を推進されたい。

2. 関係諸団体等の意見

○スポーツ振興

- 各競技団体の競技力の向上を支援されたい。
- 東京オリンピックを見据えて、若年層の選手力の強化を支援されたい。

- 障がい者スポーツの取り組みを向上させるとともに、障がい者が運動に取り組むことができる施設を整備されたい。
- 東京オリンピックキャンプ地の誘致を図られたい。

○乳幼児教育

- 公立園と私立園の果たすべき役割を理解して、幼保間の公費負担格差解消、利用者負担格差是正、公立幼稚園・公立保育園の統廃合、市内各幼稚園・保育園の適正配置を図られたい。

○学校教育

- 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成するため、特別な支援を必要とする児童・生徒の増加を見込んだ人材確保と支援体制を一層推進されたい。
- 学校施設の防災上の安全や避難所施設としての機能充実のため、設備の充実と見直しを図られたい。
- I T 教育、国際理解教育、ボランティア、平和教育、命の充実を図られたい。

○文化振興

- 文化や趣味が多種多様であるため、市民が自分に合った拠点を利用して文化を享受できるよう、いくつかの拠点を整備されたい。

○高齢者福祉

- 快適な老後が過ごせる高付加価値サービスや最高の介護、最良の医療が受けられる未来型の産業立地を目指されたい。

○障がい者福祉

- 社会的弱者に配慮された環境整備を推進されたい。